【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成19年10月4日(2007.10.4)

【公開番号】特開2002-149513(P2002-149513A)
【公開日】平成14年5月24日(2002.5.24)
【出願番号】特願2000-340195(P2000-340195)
【国際特許分類】
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
　Ｂ４１Ｊ　29/38　　(2006.01)
　Ｇ０６Ｆ　 3/12　　(2006.01)
　Ｇ０６Ｆ　13/10　　(2006.01)
【ＦＩ】
　Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５７Ａ
　Ｂ４１Ｊ　29/38　　　　Ｚ
　Ｇ０６Ｆ　 3/12　　　　Ａ
　Ｇ０６Ｆ　13/10　　３１０Ｅ

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月20日(2007.8.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】　ネットワークを介して外部装置から周辺機器に制御コマンドを送信することにより該周辺機器を制御する周辺機器制御システムにおいて、
前記周辺機器は該周辺機器が処理可能なモードを記憶する記憶手段を有し、
前記外部装置は、前記記憶手段により記憶されたモードを前記ネットワークを介して取得して一覧表示する表示手段と、
前記表示手段により一覧表示されたモードの中から所望のモードを選択する選択手段と、
前記選択手段により選択されたモードを指定してなるジョブ投入開始コマンドを前記ネットワークを介して前記周辺機器に送信する送信手段とを有することを特徴とする周辺機器制御システム。
【請求項２】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行する通常モード及び割込みで処理する割込モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。
【請求項３】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを実行せずに保存だけを行う保存モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。
【請求項４】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行できなかった場合でも後で処理を行う保証モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。
【請求項５】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行すると共に保存する混合モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。
【請求項６】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを割込みで実行すると共に保存する混合モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項７】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行して保存すると共にジョブを投入順に実行できなかった場合でも後で処理を行う混合モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項８】　前記表示手段は、前記ジョブの保存を伴うモードが選択された場合の前記周辺機器内の該モードの保存領域を一覧表示することを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項９】　前記表示手段は、前記ジョブの保存を伴うモードが選択された場合の前記周辺機器内の該モードの保存領域を一覧表示する際に、所定の保存領域が予め選択された状態で表示することを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項１０】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブ投入後に該ジョブを削除する投入後削除モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項１１】　前記投入後削除モードでは、前記ジョブの削除時間として、該ジョブの投入後の経過時間、或いは絶対時間を指定可能なことを特徴とする請求項９記載の周辺機器制御システム。

【請求項１２】　前記表示手段は、指定可能な前記ジョブの投入後の経過時間、或いは絶対時間の範囲を表示することを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項１３】　前記投入後削除モードでは、前記ジョブを実行中であっても該ジョブを削除するか否かを指定可能なことを特徴とする請求項１０～１２の何れかに記載の周辺機器制御システム。

【請求項１４】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブ実行後に該ジョブを削除する実行後モードを含むことを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項１５】　前記実行後削除モードでは、前記ジョブの削除時間として、該ジョブの実行後の経過時間、或いは絶対時間を指定可能なことを特徴とする請求項１４記載の周辺機器制御システム。

【請求項１６】　前記表示手段は、指定可能な前記ジョブの実行後の経過時間、或いは絶対時間の範囲を表示することを特徴とする請求項１記載の周辺機器制御システム。

【請求項１７】　前記実行後削除モードでは、前記ジョブの削除時間が到来した際に該ジョブを未だ実行していない場合は、該ジョブを実行した後に削除することを特徴とする請求項１４～１６の何れかに記載の周辺機器制御システム。

【請求項１８】　ネットワークを介して外部装置から周辺機器に制御コマンドを送信することにより該周辺機器を制御する周辺機器制御システムの制御方法において、

前記周辺機器は該周辺機器が処理可能なモードを記憶する記憶工程を有し、

前記外部装置は、前記記憶工程により記憶されたモードを前記ネットワークを介して取得して一覧表示する表示工程と、

前記表示工程により一覧表示されたモードの中から所望のモードを選択する選択工程と、

前記選択工程により選択されたモードを指定してなるジョブ投入開始コマンドを前記ネットワークを介して前記周辺機器に送信する送信工程とを有することを特徴とする周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項１９】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行する通常モード及び割込みで処理する割込モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２０】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを実行せずに保存だけを行う保存モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２１】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行できなかった場合でも後で処理を行う保証モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２２】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行す

ると共に保存する混合モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２３】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを割込みで実行すると共に保存する混合モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２４】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブを投入順に実行して保存すると共にジョブを投入順に実行できなかった場合でも後で処理を行う混合モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２５】　前記表示工程は、前記ジョブの保存を伴うモードが選択された場合の前記周辺機器内の該モードの保存領域を一覧表示することを特徴とする請求項１８載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２６】　前記表示工程は、前記ジョブの保存を伴うモードが選択された場合の前記周辺機器内の該モードの保存領域を一覧表示する際に、所定の保存領域が予め選択された状態で表示することを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２７】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブ投入後に該ジョブを削除する投入後削除モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２８】　前記投入後削除モードでは、前記ジョブの削除時間として、該ジョブの投入後の経過時間、或いは絶対時間を指定可能なことを特徴とする請求項２７記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項２９】　前記表示工程は、指定可能な前記ジョブの投入後の経過時間、或いは絶対時間の範囲を表示することを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３０】　前記投入後削除モードでは、前記ジョブを実行中であっても該ジョブを削除するか否かを指定可能なことを特徴とする請求項２７～２９の何れかに記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３１】　前記周辺機器が処理可能なモードとして、ジョブ実行後に該ジョブを削除する実行後モードを含むことを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３２】　前記実行後削除モードでは、前記ジョブの削除時間として、該ジョブの実行後の経過時間、或いは絶対時間を指定可能なことを特徴とする請求項３１記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３３】　前記表示工程は、指定可能な前記ジョブの実行後の経過時間、或いは絶対時間の範囲を表示することを特徴とする請求項１８記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３４】　前記実行後削除モードでは、前記ジョブの削除時間が到来した際に該ジョブを未だ実行していない場合は、該ジョブを実行した後に削除することを特徴とする請求項３１～３３の何れかに記載の周辺機器制御システムの制御方法。

【請求項３５】　ネットワークを介して外部装置から周辺機器に制御コマンドを送信することにより該周辺機器を制御する周辺機器制御システムに適用可能なコンピュータ読取可能な媒体において、

前記周辺機器は該周辺機器が処理可能なモードを記憶する記憶ルーチンを有し、

前記外部装置は、前記記憶ルーチンにより記憶されたモードを前記ネットワークを介して取得して一覧表示する表示ルーチンと、

前記表示ルーチンにより一覧表示されたモードの中から所望のモードを選択する選択ルーチンと、

前記選択ルーチンにより選択されたモードを指定してなるジョブ投入開始コマンドを前記ネットワークを介して前記周辺機器に送信する送信ルーチンとを有することを特徴とする媒体。